

## 知花賢正教育次長を講師に後期 クラブ「書道」がスタート

10月15日、後期の「クラブ」書道が、知花賢正教育次長を講師にスタートしました。午前中に作成した「書道作品ファイル」とファイル掛けを知花教育次長にプレゼントし、準備を整えてのスタートとなりました。

知花教育次長から、6ヶ月間のクラブ書道の活動計画、書道に関連するお話しを頂き、実際の実技に入りました。

筆のほぐし方、使い方、洗い方、乾かし方等の基本的なことも実践を踏まえて教授して頂きました。

教育研究員の皆さんは、広い1階ホールで、外の秋の気配を感じ、広がる墨香の中、基本の点画の運筆練習に真剣に取り組み、あっという間に2時間半が過ぎていきました。



写真1 クラブ 書道



写真2 運筆練習の様子

## 【クラブ 書道の概要】

## 「筆に慣れる 基本点画の書き方①」

- 1 書道活動計画
- 2 書道に関するあれこれ
  - (1) 三筆と三蹟
  - (2) 書体
  - (3) 筆にまつわる言葉
  - (4) 沖縄の三筆
- 3 用具について
- 4 筆の手入れ
  - (1) ほぐし方
  - (2) 使い方
  - (3) 洗い方
  - (4) 乾かし方
- 5 基本点画(単純線)の運筆練習
  - (1) たて線
  - (2) よこ線
  - (3) 斜め線
  - (4) 回腕
- 6 基本点画(習字線)の運筆練習
  - 「よこ画」→一(たいら、そり、ふせ)「一」「二」「三」

## 【教育研究員の感想】(研修日誌から)

書道では、基本点画の書き方について教えて頂きました。昔の偉人や、沖縄の筆人も教えて頂き、古くから大切にされている文化なのだと思えました。そして習字というのは、一画一画本当に意識しないと納得する作品ができないということで、日々の作品の出来が左右されます。その人の心が映し出されるのだなと思えました。(上原亜矢)

字を書くのが苦手で、コンプレックスがあった私ですが、十数年前、知花局長に習字を教えて頂いて以来、字を書くことがあまり苦手ではなくなりました。とは言え、やはり習字は難しくてなかなかうまく書けません。「一」がこんなに難しいなんて。何度やってもうまくいかない私に、知花局長は根気強く丁寧に教えて下さいました。合格点をもらったときは、飛び上がるほど嬉しかったです。(比嘉頼子)

初めてのクラブ書道では、まずはただまっすぐな線を引くだけで簡単だと思ってやってみると案外うまくいかなかったのですが、「体ごと動かして書く」という具体的なアドバイスの後は書き易くなりました。子どもへのアドバイスの参考になりました。最後は「三」という漢字にチャレンジしました。部分部分では自分なりにいいと思える作品はあったのですが三画とも満足のいくことはなかったので次回は、一画目に気をつけて書きます。(久高友弥)

知花局長のご指導の下、第一回目の書道クラブがスタートしました。初めに、横線→縦線→斜め線→円を描き、筆に慣れさせ、横線にも3つの種類があることやポイントを教えていただき、「三」を書くことができました。局長に褒めてもらったり、分りやすく教えていただいたりすると、子ども達も同じように教師に認めてもらいたいんだろうなと思いました。正直な所、教科の中で一番苦手なのが、書道です。現場では、得意な子に書いてもらったり、教科書通りのポイントだけ押さえて、子ども達にさせていることが多かったため、これを機会に、苦手意識から脱出できるように頑張りたいと思います。(富名腰由紀)

書道クラブでは、知花局長に書道の書き順の意味や筆の運び方などを丁寧に教えて頂きました。黒板に書く字にあまり自信がないので、このチャンスにきれいな字がかけられるように練習に励みたいと思います。漢字の「三」を完成させました。三角目のそりが難しく何度か練習しましたが納得いく字にはなりませんでした。次回また挑戦します。(波照間生子)